

# 「魅力的な未来の鹿児島市まちづくり案」の検討 ～地域資源の活用と周遊性の向上に着目して～ 法文学部人文科多元地域文化コース3年 穂山修平

## 受け入れ企業の紹介

**受入先企業：**  
株式会社新日本技術コンサルタント  
**業種：**  
建設コンサルタント業



九州の建設コンサルタントとして  
地球・地域と共に  
永続する会社を目指します

新日本技術コンサルタントの強み

「経験豊富なコンサルタント」「即応できる専門の技術者」が  
常に最適解を導き出し、地域の発展に貢献します。

## 提示された課題

鹿児島市における課題や魅力を抽出  
したうえでのまちづくり案の提案

## 1. まち歩きを通しての学び

帖佐駅周辺  
(再開発されるエリア)  
課題  
・人の流れの創出  
・歩行空間などの安全性向上、  
周遊性の向上

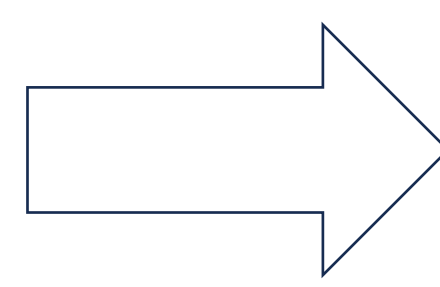


鹿児島駅周辺  
(時間をかけ開発されたエリア)  
課題  
・魅力ある地域資源が周知されて  
いない



Google map から引用

**コンパクトシティ**  
(注目した考え方)  
機能がコンパクトに集約し、  
効率化した持続可能な都市  
↓  
**交通が重要**



鹿児島市のまちづくりにおいて重視すべきこと

**交通との結節と地域資源の活用**

## 2. 開発エリアの選定

・前半期の調査を踏まえて、まちづくり  
の基礎は、**交通**であると分かった  
※鹿児島市においては、**市電**が軸になる  
→市電と結節する拠点のないところを選定

**鹿児島中央駅－天文館のエリア**に注目

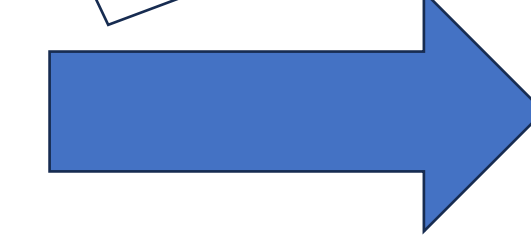
### 調査で見つけた長所

- ・歴史資源が豊富
- ・自然に恵まれている

### 調査で見つけた課題

- ・拠点が無い
- ・史跡めぐりの楽しさ、  
つながりがない
- ・「入口」がない

歴史や自然  
+  
市電



人の流れを作るために**軸**を設定

- 空間的な軸  
⇒「**歴史ロード 維新誕生の道**」  
(既存の歴史ロードに加える軸)
- 人の流れの軸  
⇒「**かじやのかくれ路**」  
(市電とつなげられる軸)

## 3. まちづくり案の提示

### 既存施設の活用、改善案

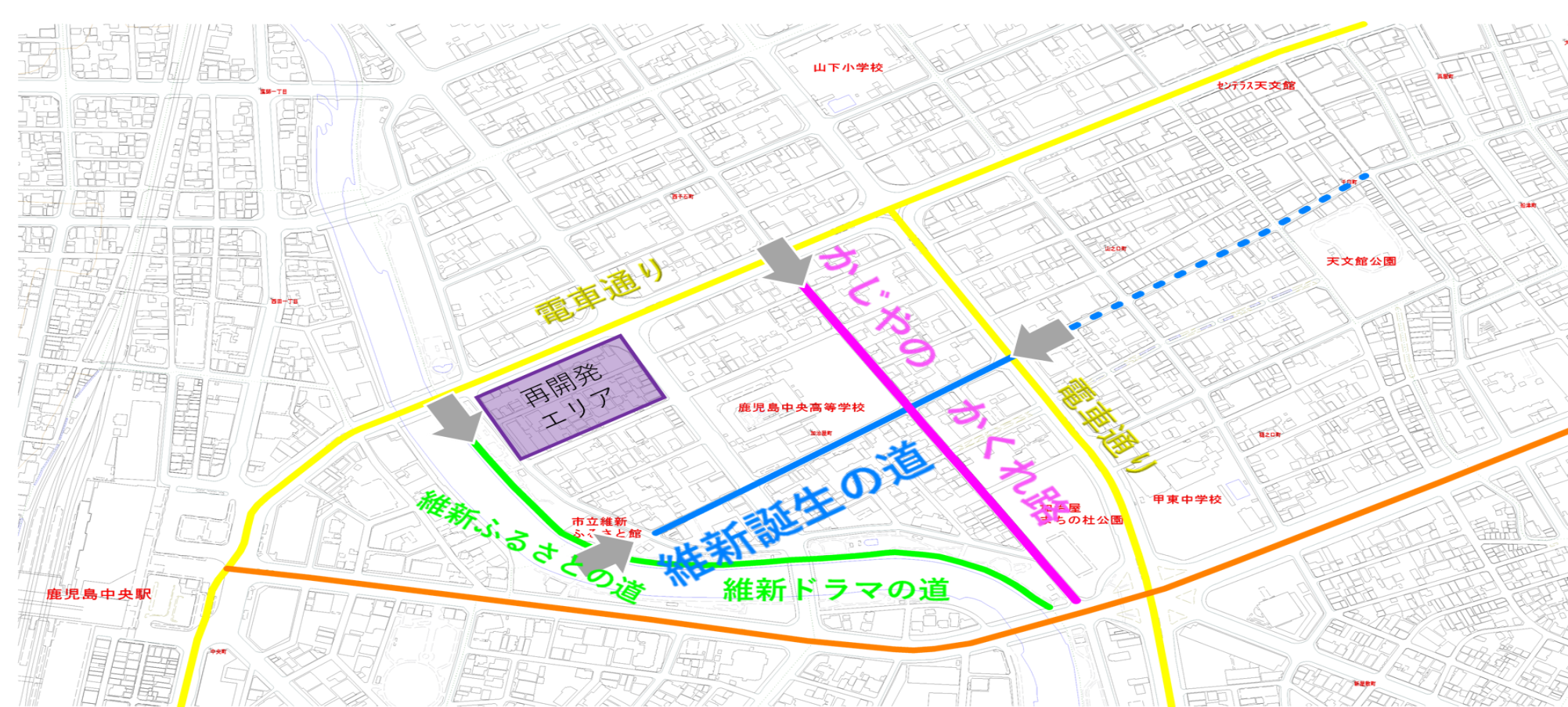
#### 維新ふるさとの道

- ・ふるさと維新館の拠点化  
→維新ふるさと館との連携を図る  
→衣装のレンタル  
→衣装を着ていたら歴史カフェで割引  
→入場券等に他の道で使用する  
QRコードやアプリの案内

#### 維新ドラマの道

- ・ARでドラマ動画を見られる  
7つのモニュメント  
→モニュメントの前にベンチを置く  
→スマホスタンドをつけ、その場で  
動画を見やすくする
- ・ARドラマを見た特典を工夫する  
→観光交流センターでのグッズ交換

### まちづくりマップ



### 新規提案

#### 維新誕生の道

- ソフト面  
・史跡の見やすさを向上させる  
⇒石基調にして雰囲気統一を図る
- ハード面  
・史跡のそばに歩道設置  
・歩道を石畳にする  
・街灯(石灯籠風)を5M間隔に設置  
・VRアプリ(スマホアプリ)の活用

#### かじやのかくれ路

- ソフト面  
・歴史カフェの設置  
・観光案内所の増設
- ハード面  
・石レンガ調の道路の整備  
・薩摩切子風の街頭の設置  
・古着屋、アンティークショップの誘致

既存拠点「維新ふるさと館」の活用  
道路のデザインの刷新、統一  
→**通りに連続性を持たせる**

## 今後の課題

### 反省

- ・周遊性の向上に着目するあまり、  
地域住民の生活向上に意識を向  
けることができなかった

### 今後考えていくこと

- ・抜本的な工事
- ・ごみ問題

## インターンシップで 身についたこと

### ①課題発見力

感じた違和感など課題として落とし込むこ  
ができるようになった

### ②積極性

自身の持っている知識と結び付けて積極的  
に発言できるようになった

## インターンシップで 学んだこと

### ①自信を持つこと

自信を持つことで、よりよいパフォー  
マンスができることを学んだ

### ②小さな気づきを大切にすること

普段気にしないようなことでも  
課題となりうることを学んだ。

株式会社新日本技術コンサルタントの  
皆様をはじめ、協力してくだ  
さったすべての関係者の皆様

大変ありがとうございました。